

令和4年度 定時総会

議 案 書

日 時 : 令和4年6月15日(水) 午後1時30分～

場 所 : オーシャンプラザ内ホームヘルパー研修室

一般社団法人 東庄町シルバー人材センター

シルバー人材センター事業の理念

『自主・自立、共働・共助』

我が国の急速な人口高齢化の中で発想された新しい就業システムです。高齢のため現役をリタイアした方々等が、主に雇用関係でない何らかの就業を通じて、自己の労働能力を活用し、それによって追加的収入を得るとともに、自らの生きがいの充実や社会参加を希望する高齢者に対して、地域社会の日常生活に密着した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な仕事を組織的に把握して、提供する高齢者の自主的な団体です。したがって、この事業は次のような理念の下に運営されています。

1. 地域の高齢者が、自主的にその生活している地域を単位に連帯して、共に働き、共に助け合っていくことを目指しています。
2. 高齢者の就業を促進することにより、高齢者自身の活動的な生活能力を生み出すとともに、その家族や地域社会に活力を生み出し、ひいては地域社会活性化につなげていきます。
3. 働く意欲と能力を持った高齢者であれば誰にでも参加の道を開き、自主的な組織参加と労働能力を発揮することにより、豊かで積極的な高齢期の生活と社会参加による生きがいの充実を図ろうとするものです。

令和4年度

一般社団法人東庄町シルバー人材センター 定時総会

日時：令和4年6月15日(水)

13時30分～

場所：オーシャンプラザ内

ホームヘルパー研修室

次 第

1. 開 会 の こ と ば
2. 会 長 挨 拶
3. 定 足 数 報 告
4. 議 事

報告事項

- | | |
|-------|-----------|
| 報告事項1 | 令和3年度事業報告 |
| 報告事項2 | 令和4年度事業計画 |
| 報告事項3 | 令和4年度収支予算 |

決議事項

- | | |
|-------|---|
| 第1号議案 | 令和3年度貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）及び財産目録承認の件
監査報告 |
|-------|---|

5. そ の 他
6. 閉 会 の こ と ば

報告事項

報告事項1 令和3年度事業報告

一般社団法人東庄町シルバー人材センター定款第40条の規定に基づき、理事会において、承認されましたので報告します。

令和4年6月15日

一般社団法人東庄町シルバー人材センター
会 長 吉 田 武 夫

令和3年度事業報告

事業概要

東庄町シルバー人材センターでは、中期計画の5年目として計画に基づき取り組んで参りました。多様化する働きたい高齢者のニーズに対応した就業機会の確保・拡大に取り組み、高齢者の健康増進、社会参加、生きがいの充実を図りました。この様な中で、昨年、改正高齢者雇用安定法が施行され継続雇用制度の導入や定年引上げなど、就業環境が変化し多様化するとともに、一昨年以降、新型コロナウイルスの感染拡大により社会経済活動は大きな影響を受け、シルバー人材センター事業においても会員数や契約額が減少するなど影響がでています。

また、各種事業、イベントについても、新型コロナウイルス感染拡大防止のため長期にわたり緊急事態宣言が発出されるなど中止となり、広報活動もできませんでした。

事業実績については、会員数は前年度より25人減の141人となりました。契約金額は前年度に比べ、受託事業は4,310,273円の減、派遣事業は10,536,894円の増、計6,226,621円の増と若干ではあるがコロナ禍前に戻りつつある。

引き続き、「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、地域から信頼されるシルバー人材センターとして、会員と就業機会の拡大に努めて参ります。

1. 数値目標の達成については、次のとおりです。

	目標	実績 (R4年3月末)
(1) 会員数	170人	141人
(2) 契約金額	受託：33,360,000円	36,394,150円
	派遣：26,400,000円	34,238,664円
(3) 就業率	90%	85.8%

会員数については、目標値より25人減でした。

契約金額については、請負は目標値より3,034,150円の増。派遣については目標値より7,838,664円増となりました。

就業率については、目標達成には至りませんでした。希望する仕事と、依頼される仕事に違いがあるのが要因と思われます。

2. 就業機会の確保・提供

- ・入会説明会は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止。
- ・広報とうのしょう及びシルバーとうのしょう、シルバーホームページに会員募集の掲載と、会員募集のチラシ回覧を実施しました。
- ・会員からの相談を随時受け付け、働きやすい環境の確保に努めました。
- ・行政や関係機関との連携を強化することで、就業開拓の推進を図りました。

3. 会員活動の充実

- ・会員の親睦を図るため日帰り旅行を企画しましたが、新型コロナウイルス感染症防止のため中止しました。

4. 普及啓発活動

- ・会員だよりを通じて、会員によるロコミ活動を奨励しました。
- ・公共機関へリーフレットの配布や広報誌「シルバーとうのしょう」を各世帯へ配布し、シルバー人材センター事業の周知に努めました。

5. 安全・適正就業の推進

- ・安全就業に対する心構えや意識の向上を呼びかけました。
- ・危険又は有害な作業を排除し、質の良い仕事の提供に努めました。
- ・作業前、終了後は必ず現場点検を行うことの徹底を図りました。
- ・安全委員会を中心に職場巡視などを継続し、事故0を目標として安全就業を推進しました。
- ・健康診断の受診を奨励し、加齢による体力や判断力の低下を意識しながら、常に良好な体調で就業できるよう自身の健康管理を促しました。
- ・町職員を講師に迎え、「交通安全・健康づくり教室」の開催は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止しました。
- ・熱中症の予防対策や段階的な症例、発症時の対処法を会員だよりに掲載し注意喚起しました。
- ・ワークシェアリングを推進し、公平な就業機会の提供に努めました。

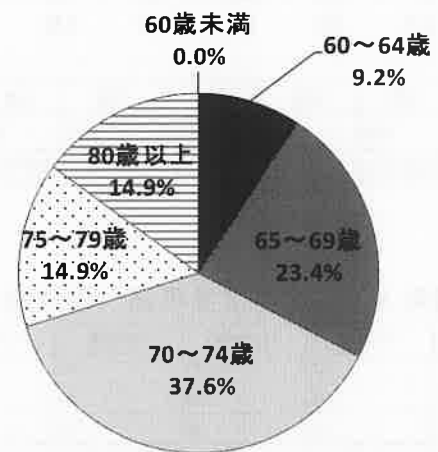
6. 事業推進体制の強化

- ・一般社団法人として、法令に基づいた運営を適正に行い、県シルバー人材センター連合会など関係団体主催の研修会に参加し、知識の習得や事務能力のさらなる向上に努め、効率的かつ円滑な事業運営の強化を図りました。

年齢別構成比表

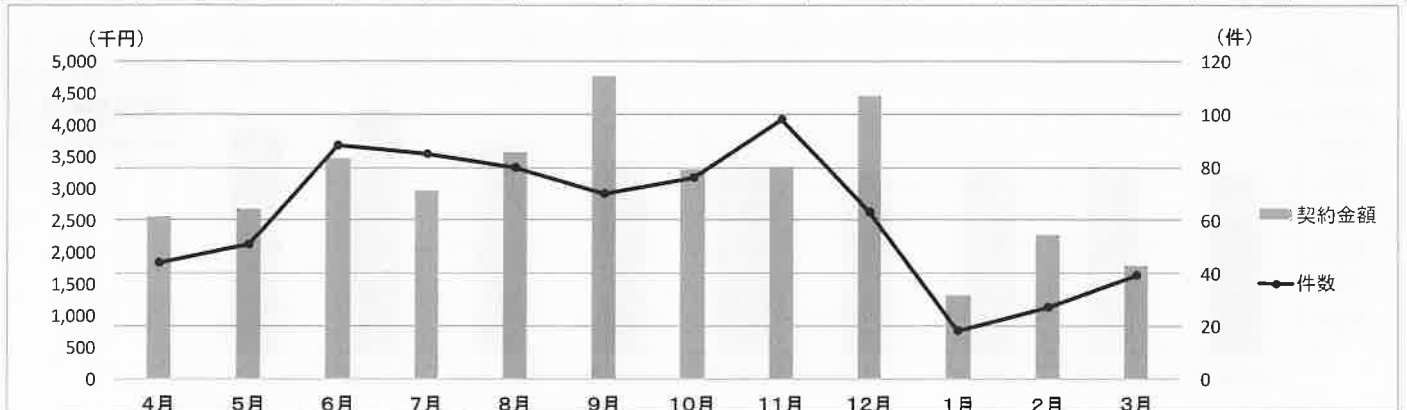
年齢	男性	女性	合計	年齢	男性	女性	合計
59以下	0	0	0	75	2	6	8
60	0	0	0	76	2	3	5
61	0	0	0	77	4	1	5
62	0	2	2	78	0	2	2
63	2	2	4	79	0	1	1
64	3	4	7	小計	8	13	21
小計	5	8	13	80	1	2	3
65	6	4	10	81	1	1	2
66	3	1	4	82	2	1	3
67	3	0	3	83	3	1	4
68	4	1	5	84	1	1	2
69	7	4	11	小計	8	6	14
小計	23	10	33	85	2	1	3
70	8	4	12	86	1	1	2
71	6	4	10	87	0	0	0
72	6	3	9	88	0	0	0
73	4	6	10	89	1	0	1
74	8	4	12	90	0	0	0
小計	32	21	53	小計	5	2	7
				合計	81	60	141

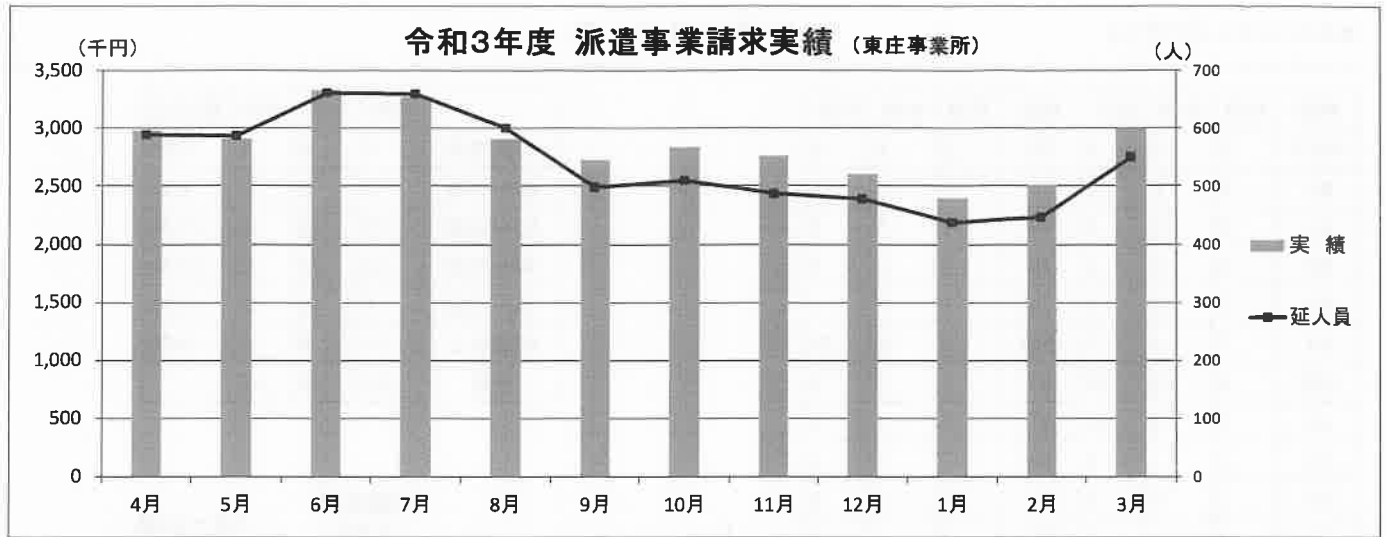
	男性	女性	合計	構成比
60歳未満	0	0	0	0.0%
60～64歳	5	8	13	9.2%
65～69歳	23	10	33	23.4%
70～74歳	32	21	53	37.6%
75～79歳	8	13	21	14.9%
80歳以上	13	8	21	14.9%
合計	81	60	141	



令和3年度 受託事業実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
公共	件数	1	8	4	5	6	18	10	5	6	3	7	5	78
	契約金額	17,600	532,028	140,675	284,830	412,673	1,818,214	547,280	363,617	615,360	85,360	346,005	116,640	5,280,282
公社	件数	2	2	3	2	3	4	2	2	3	2	3	3	31
	契約金額	459,992	214,005	878,075	231,330	854,892	865,150	239,992	231,330	953,150	222,667	683,485	269,775	6,103,843
企業	件数	7	9	10	11	8	9	6	6	9	6	6	7	94
	契約金額	899,260	1,057,729	706,205	804,173	759,960	975,251	555,051	475,199	1,482,514	457,852	607,483	604,243	9,384,920
家庭	件数	34	32	71	67	63	39	58	85	45	7	11	24	536
	契約金額	1,173,036	873,210	1,742,895	1,641,801	1,542,082	1,096,864	1,951,115	2,268,853	1,384,537	538,555	619,035	793,122	15,625,105
合計	件数	44	51	88	85	80	70	76	98	63	18	27	39	739
	契約金額	2,549,888	2,676,972	3,467,850	2,962,134	3,569,607	4,755,479	3,293,438	3,338,999	4,435,561	1,304,434	2,256,008	1,783,780	36,394,150
就業実人員		44	51	88	85	80	70	76	98	63	18	27	39	739
就業延実人員		121	160	276	242	257	289	263	306	218	53	92	93	2,370
就業延日人員		403	423	555	470	569	646	523	541	627	269	344	341	5,711

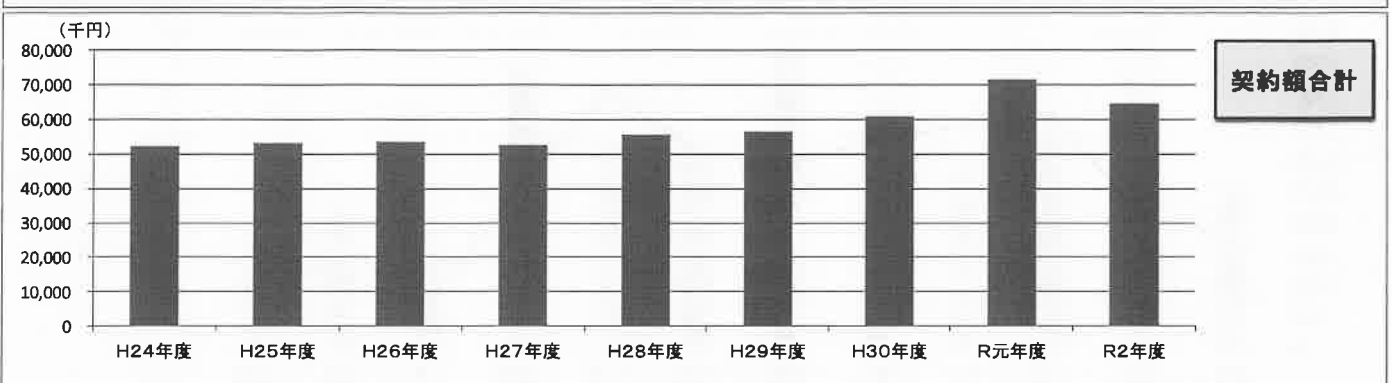
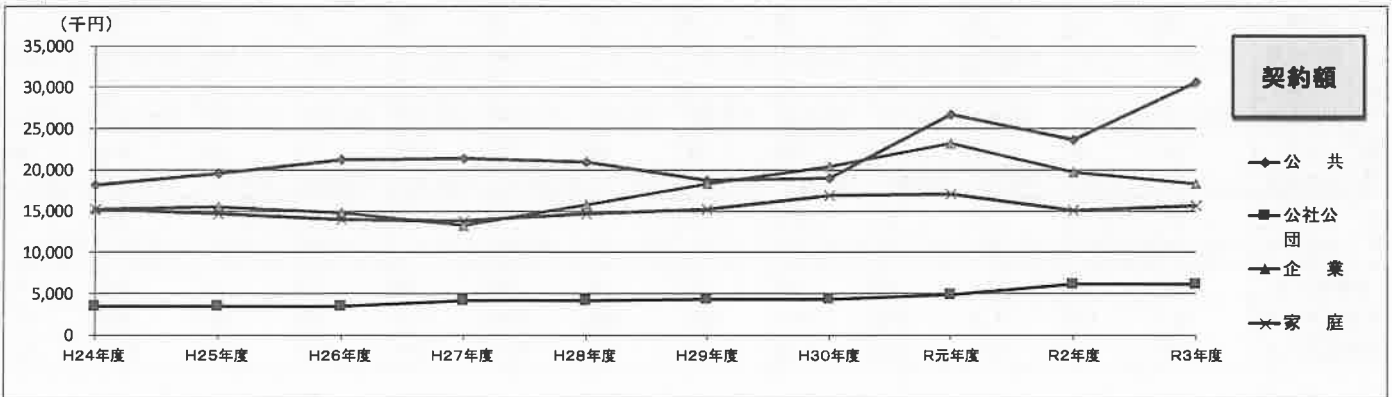




	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人員	590	587	662	661	602	498	510	488	478	438	446	552	6,512
実績	2,981,310	2,904,258	3,327,282	3,275,655	2,910,237	2,727,529	2,838,033	2,758,288	2,600,656	2,400,749	2,512,633	3,002,034	34,238,664

《参考資料》 年度別事業実績 (平成26年度までは任意団体、平成27年度については団体・法人合算)

		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
会員数 (人)	男	49	47	46	67	68	77	89	100	101	81
	女	25	28	24	33	43	45	58	59	65	60
	合計	74	75	70	100	111	122	147	159	166	141
契約額 (円)	公共	18,193,559	19,526,020	21,225,377	21,375,420	20,883,167	18,653,390	19,030,271	26,703,014	23,660,574	30,564,483
	(受託)	18,193,559	19,526,020	21,225,377	21,375,420	3,533,835	1,545,550	2,445,500	5,423,880	4,944,680	5,280,282
	(派遣)					17,349,332	17,107,840	16,584,771	21,279,134	18,715,894	25,284,201
	公社公団	3,445,530	3,429,360	3,521,232	4,184,184	4,207,404	4,316,721	4,315,452	4,812,261	6,077,305	6,103,843
	企業	15,200,123	15,501,757	14,833,574	13,243,076	15,764,779	18,357,035	20,434,244	23,128,375	19,634,131	18,339,383
	(受託)	15,200,123	15,501,757	14,833,574	13,243,076	15,764,779	18,357,035	20,434,244	22,955,950	14,648,255	9,384,920
	(派遣)								172,425	4,985,876	8,954,463
家庭	15,216,785	14,582,633	13,979,665	13,783,773	14,620,959	15,244,396	16,897,346	17,023,097	15,034,183	15,625,105	
合計	52,055,997	53,039,770	53,559,848	52,586,453	55,476,309	56,571,542	60,677,313	71,666,747	64,406,193	70,632,814	



報告事項2 令和4年度事業計画

一般社団法人東庄町シルバー人材センター財務規程第11条第3項の規定に基づき、理事会において、承認されましたので報告します。

令和4年6月15日

一般社団法人東庄町シルバー人材センター
会 長 吉 田 武 夫

令和4年度事業計画

基本方針

我が国の景気及び雇用環境は、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢をめぐる警戒感から不透明感が強くなっている。今後も人口減少と少子化に加え、長寿化の進行に伴い、高齢者の総人口に占める割合は急激に上昇する。とりわけ団塊の世代の高齢化がもたらす影響は深刻である。このことは、現役世代の人口減少（15～64歳の生産年齢人口）が進行し、国民全体の就業率が低下していく。人口構造や世帯の姿の変化に伴い、子ども・子育て世代や高齢者世代への支援サービスの充実や社会保障制度の強化が求められている。

一方、人口構造が変化していく中、「人生100年時代」といわれるように、地域の活性化や地域課題の解決に取り組む高齢者、やりがいを持って働き続ける高齢者など、健康を維持しながら様々な生き方を自ら選択する高齢者が増えている。こうしたニーズに応じて、すべての働く仲間・生活者が自らの選択で生き生きとした生涯を送ることができる社会を実現していくためにも、シルバー人材センター事業の担う役割はますます増大している。

東庄町シルバー人材センターにおいても、町の施策の一つである、高齢者が生き生きと生涯現役で暮らせるまちづくりを目指し、健康増進に努めます。また、身近な地域で安心して働くことができるよう、高年齢者が希望と能力に応じた臨時的・短期的又は軽易で多様な就業機会を提供することで、健康増進・社会参加・生きがいの充実を図り、高年齢者自身やその家族・地域社会に活力を生み出し、日常生活に密着したセンターとして、『自主・自立・共働・共助』の理念のもと、安全と適正に配慮し、事業推進に取り組むことにより地域社会に貢献し、最大限の事業効果を得られるよう努めて参ります。

1. 数値目標

令和3年度の事業計画に基づき、数値目標を次のとおり定めます。

- (1) 会員数 156人
- (2) 契約金額 請負：26,310,000円 派遣：26,400,000円
- (3) 就業率 90.0%

2. 就業機会の確保・提供

(1) 入会促進の取組

- ・ 入会説明会を定期的に開催し、希望者が気軽に参加できる環境づくりに努めます。
- ・ 町やセンターの広報紙等を有効活用し、入会促進に向けさまざまな機会を通してPR活動を行なっていきます。
- ・ パンフレット、チラシの配布や会員の口こみ等で、シルバー人材センター事業の周知に努めます。

(2) 就業機会確保・相談

- ・ 会員からの相談を随時受け付け、センター事業の説明を行います。
- ・ 行政や関係機関との連携を強化することで、就業開拓の推進を図ります。
- ・ 独自事業の計画を推進していきます。
- ・ 顧客のニーズを把握すると共に、それに対応できる会員の確保・育成に努めます。
- ・ 就労機会が少ない会員へ、他の職種のあっせん、お試し就労の推奨。
- ・ 退会を申し出た会員に対するきめ細かな個別相談と会員継続の勧奨。
- ・ 80歳を超えても生きがい就労ができる仕組み（仕事の開拓）
- ・ 会員継続の魅力づくり（会員特典、会費の免除）。

3. 会員活動の充実

(1) 講習会及び研修会

- ・ 就業時のトラブルを未然に防ぎ、また技術や技能のさらなる習得のため、研修会や講習会を実施し、接客態度や仕事の質の向上に努め、会員のマナーやモラルの向上を目指します。
- ・ イベントを企画し、会員相互や事務局との交流の場を設けます。

4. 普及啓発活動

(1) PR活動

- ・ パンフレットやチラシを配布するなどのPR活動を強化します。
- ・ 就業時や地域活動の機会を通じての会員による口コミ活動を奨励します。
- ・ 発注者や会員希望者に向けた事業の紹介や既会員へ連絡などホームページを有効活用します。

(2) 広告配布

- ・ 町広報紙に広告を折り込むことにより、事業への理解を深めます。
- ・ 「シルバーとうのしょう」を通じて、センター事業や会員活動の紹介に努めます。

5. 安全・適正就業の推進

(1) 安全作業・交通安全・健康管理

- ・ 危険又は有害な作業を排除し、質の良い仕事の提供に努めます。
- ・ 作業前、終了後は必ず現場点検を行うことを徹底します。
- ・ 安全委員会を中心に職場巡視などを継続し、事故0を目標として安全就業を推進します。
- ・ 会員の就業途上の事故の防止に努めるため、意識の向上を促します。
- ・ 熱中症予防のため、暑い時期の健康管理についての普及啓発を図ります。
- ・ 定期的な健康診断の受診を奨励し、加齢による体力や判断力の低下を意識しながら、常に良好な体調で就業できるよう自身の健康管理を促します。

(2) 就業・契約の適正化

- ・ 未就業会員を減らすため、ワークシェアリング（仕事の分かち合い）を推進し、

公平な就業機会の提供を目指します。

- ・ 現在就業中で、シルバー人材センターに定められている「臨時的かつ短期的又は軽易な業務」に適していない就業に対して、人員配置の見直しを行います。
- ・ 定期的に就業内容を確認・調査し、請負・委任になじまない就業については発注者へ理解を求め契約内容の見直しを行うなど、法令遵守を徹底します。

6. 事業推進体制の強化

(1) 一般社団法人としての適正な運営

- ・ 一般社団法人として、法令に基づいた運営を適正に行います。
- ・ 事業計画に基づき取り組むよう努めます。
- ・ 国や県の情報収集に努めます。

(2) 理事会・委員会の積極的関与

- ・ 会員からの意見を積極的に活用できるように理事会・委員会の機能を強化します。また、発注者や会員の多様なニーズに即応できるように、企画力の向上に努めます。

(3) 職員研修の強化

- ・ 全国シルバー人材センター事業協会や千葉県シルバー人材センター連合会など関係団体主催の研修会に参加し、知識の習得や事務能力のさらなる向上に努め、効率的かつ円滑な事業運営の強化を図ります。

(4) 財政基盤の強化

- ・ 財政基盤強化の一助とするため、最低賃金の引き上げに対応するため、単価や事務費率の改定を検討します。

報告事項3 令和4年度収支予算

一般社団法人東庄町シルバー人材センター財務規程第11条第3項の規定に基づき、理事会において、承認されましたので報告します。

令和4年6月15日

一般社団法人東庄町シルバー人材センター
会 長 吉 田 武 夫

収支予算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位:円)

勘 定 科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受託事業収益	26,310,000	33,360,000	△ 7,050,000	
受取配分金	22,100,000	27,600,000	△ 5,500,000	
受取材料費等	2,000,000	3,000,000	△ 1,000,000	
受取事務費	2,210,000	2,760,000	△ 550,000	
労働者派遣事業等受託収益	2,640,000	2,640,000	0	
労働者派遣事業等受託収益	2,640,000	2,640,000	0	連合会からの派遣手数料収入
受取会費	498,000	540,000	△ 42,000	
正会員受取会費	468,000	510,000	△ 42,000	1人あたり月額250円
賛助会員受取会費	30,000	30,000	0	3,000円× 10人
受取補助金等	12,682,000	11,164,000	1,518,000	
受取連合交付金	6,341,000	5,582,000	759,000	
受取市町村補助金	6,341,000	5,582,000	759,000	
雑収益	11,000	11,000	0	
受取利息	1,000	1,000	0	預金利息
雑収益	10,000	10,000	0	
経常収益計	42,141,000	47,715,000	△ 5,574,000	
(2) 経常費用				
事業費	45,405,000	50,845,000	△ 5,440,000	
支払配分金	22,100,000	27,600,000	△ 5,500,000	
支払材料費等	1,800,000	2,000,000	△ 200,000	
給与手当	13,100,000	13,100,000	0	給与、諸手当
法定福利費	1,900,000	1,900,000	0	社会保険・厚生年金・労働保険料
退職給付費用	500,000	720,000	△ 220,000	中退共掛金
福利厚生費	30,000	360,000	△ 330,000	職員健康診断料
会議費	30,000	30,000	0	安全委員会等役員会
旅費交通費	30,000	30,000	0	研修・出張旅費
通信運搬費	350,000	300,000	50,000	電話代、郵便料等
減価償却費	800,000	660,000	140,000	車両、草刈機
什器備品費	200,000	200,000	0	
消耗品費	300,000	300,000	0	車両燃料、事務用品等
修繕費	100,000	100,000	0	機械類・車両修理、点検
印刷製本費	200,000	150,000	50,000	就業開拓・勧誘広告
光熱水料費	35,000	35,000	0	電気料
賃借料	400,000	1,250,000	△ 850,000	PC・複合機リース料
保険料	900,000	800,000	100,000	賠償・障害・自動車保険
諸謝金	60,000	60,000	0	講習会等講師料
租税公課	700,000	700,000	0	消費税、印紙代、諸税
支払負担金	300,000	0	300,000	派遣システム使用許諾金
委託費	1,400,000	280,000	1,120,000	シルバーシステム利用料、OA機器類・HP保守料
教材費	50,000	50,000	0	講習会用材料
支払手数料	100,000	200,000	△ 100,000	振込手数料
雑費	20,000	20,000	0	

収支予算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位:円)

勘定科目	当年度	前年度	増減	備考
管理費	2,839,000	2,641,000	198,000	
役員報酬	200,000	60,000	140,000	理事、監事
給与手当	1,400,000	1,400,000	0	給与、諸手当
法定福利費	210,000	210,000	0	社会保険・厚生年金・労働保険料
退職給付費用	60,000	80,000	△ 20,000	中退共掛金
福利厚生費	15,000	40,000	△ 25,000	職員健康診断料
会議費	30,000	30,000	0	総会、理事会
旅費交通費	30,000	30,000	0	研修・出張旅費
通信運搬費	50,000	50,000	0	電話代、郵便料等
減価償却費	40,000	40,000	0	車両
什器備品費	50,000	50,000	0	
消耗品費	50,000	50,000	0	車両燃料、事務用品等
修繕費	50,000	50,000	0	機械類・車両修理、点検
印刷製本費	30,000	30,000	0	封筒他
光熱水料費	10,000	10,000	0	電気料
賃借料	45,000	150,000	△ 105,000	PC・複合機リース料
保険料	100,000	15,000	85,000	役員賠償・個人情報・自動車保険
租税公課	70,000	70,000	0	法人県民税、登録免許税
支払負担金	214,000	214,000	0	千シ連会・全シ協年会費、町社協賛助会費
委託費	155,000	32,000	123,000	シルバーシステム利用料、OA機器類・HP保守料
支払手数料	10,000	10,000	0	振込手数料
雑費	20,000	20,000	0	
経常費用計	48,244,000	53,486,000	△ 5,242,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,103,000	△ 5,771,000	△ 332,000	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 6,103,000	△ 5,771,000	△ 332,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 6,103,000	△ 5,771,000	△ 332,000	
一般正味財産期首残高	13,618,272	11,816,429	1,801,843	
一般正味財産期末残高	7,515,272	6,045,429	1,469,843	
II 指定正味財産増減の部				
(1) 収益				
収益計	0	0	0	
(2) 費用				
費用計	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	7,515,272	6,045,429	1,469,843	

収支予算書に係る注記

1.投資活動及び財務活動に関する見込

勘定科目	当年度	前年度	増減	備考
【投資活動収支の部】				
〈投資活動収入〉				
投資活動収入計	0	0	0	
〈投資活動支出〉				
固定資産取得支出				
車輛運搬具購入支出	1,500,000	0	1,500,000	
投資活動支出計	1,500,000	0	1,500,000	
【財務活動収支の部】				
〈財務活動収入〉				
財務活動収入計	0	0	0	
〈財務活動支出〉				
財務活動支出計	0	0	0	

2.受取配分金等の増加に連動する費用(支払配分金、支払材料費等)に限り、予算額を超えて執行することができる

決議事項

第1号議案 令和3年度貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）
及び財産目録承認の件
監査報告

一般社団法人東庄町シルバー人材センター定款第40条の規定に基づき、理事会において、承認されましたので、総会にて承認を求めます。

令和4年6月15日

一般社団法人東庄町シルバー人材センター
会 長 吉 田 武 夫

貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

001 本部		(単位：円)		
科目	当年度	前年度	増減	
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金	446,153	520,221	△ 74,068	
普通預金：千葉銀行笹川支店	0	0	0	
普通預金：佐原信用金庫笹川支店 1	10,627,592	8,343,681	2,283,911	
郵便貯金：ゆうちょ銀行 0 5 8 支店	4,443,764	4,569,636	△ 125,872	
普通預金：佐原信用金庫笹川支店 2	500,085	500,081	4	
未収金	1,961,331	2,503,711	△ 542,380	
立替金	0	9,054	△ 9,054	
前払金	81,500	0	81,500	
前払費用	0	117,204	△ 117,204	
流動資産合計	18,060,425	16,563,588	1,496,837	
2. 固定資産				
(1) 特定資産				
特定資産合計	0	0	0	
(2) その他固定資産				
車輛運搬具	1,155,081	1,753,108	△ 598,027	
什器備品	221,637	299,871	△ 78,234	
預託金	14,030	14,030	0	
その他固定資産合計	1,390,748	2,067,009	△ 676,261	
固定資産合計	1,390,748	2,067,009	△ 676,261	
資産合計	19,451,173	18,630,597	820,576	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	5,467,856	6,467,160	△ 999,304	
前受金	234,000	264,000	△ 30,000	
預り金	131,045	83,008	48,037	
仮受金	0	0	0	
流動負債合計	5,832,901	6,814,168	△ 981,267	
負債合計	5,832,901	6,814,168	△ 981,267	
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産	0	0	0	
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
2. 一般正味財産	13,618,272	11,816,429	1,801,843	
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
正味財産合計	13,618,272	11,816,429	1,801,843	
負債及び正味財産合計	19,451,173	18,630,597	820,576	

001 本部

正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位：円)			
科目	当年度	前年同月	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	36,394,150	40,704,423	△ 4,310,273
受取配分金	27,998,701	31,202,067	△ 3,203,366
受取材料費等	5,359,871	4,428,501	931,370
受取事務費	3,035,578	5,073,855	△ 2,038,277
労働者派遣事業等受託収益	2,963,265	2,058,921	904,344
労働者派遣事業等受託収益	2,963,265	2,058,921	904,344
受取会費	351,250	342,750	8,500
正会員受取会費	348,250	342,750	5,500
賛助会員受取会費	3,000	0	3,000
受取補助金等	11,164,000	9,786,000	1,378,000
受取連合交付金	5,582,000	4,893,000	689,000
受取(町)補助金	5,582,000	4,893,000	689,000
雑収益	140	125	15
受取利息	140	123	17
雑収益	0	2	△ 2
経常収益計	50,872,805	52,892,219	△ 2,019,414
(2) 経常費用			
事業費	47,203,179	49,267,578	△ 2,064,399
支払配分金	27,998,701	31,202,067	△ 3,203,366
支払材料費等	2,065,871	1,832,770	233,101
給付手当	10,400,850	10,037,874	362,976
法定福利費	1,605,965	1,456,321	149,644
退職給付費用	534,600	405,000	129,600
福利厚生費	215,072	227,664	△ 12,592
会議費	16,500	0	16,500
旅費交通費	20,136	6,992	13,144
通信運搬費	419,299	315,292	104,007
減価償却費	636,658	294,069	342,589
什器備品費	0	346,080	△ 346,080
消耗品費	191,524	203,174	△ 11,650
修繕費	62,239	76,171	△ 13,932
印刷製本費	120,120	68,200	51,920
光熱水料費	2,772	3,737	△ 965
貸借料	1,236,348	1,236,348	0
保険料	722,758	619,310	103,448
諸謝金	0	0	0
租税公課	589,800	647,130	△ 57,330
委託費	254,985	176,197	78,788
教材費	0	0	0
支払手数料	108,981	113,182	△ 4,201
雑費	0	0	0
管理費	1,867,782	1,727,155	140,627
役員報酬	23,460	22,000	1,460
給付手当	1,033,194	972,780	60,414
法定福利費	178,043	161,794	16,249
退職給付費用	59,400	45,000	14,400
福利厚生費	20,563	21,811	△ 1,248
会議費	24,490	8,952	15,538
旅費交通費	2,340	0	2,340
通信運搬費	25,249	25,207	42
減価償却費	39,602	0	39,602
什器備品費	0	0	0
消耗品費	36,473	46,480	△ 10,007
修繕費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
光熱水料費	0	0	0
貸借料	137,364	137,364	0
保険料	12,902	12,780	122
租税公課	30,618	24,336	6,282
支払負担金	214,000	214,000	0
委託費	28,324	19,570	8,754
支払手数料	1,760	6,981	△ 5,221
雑費	0	8,100	△ 8,100
経常費用計	49,070,961	50,994,733	△ 1,923,772
評価損益等調整前当期経常増減額	1,801,844	1,897,486	△ 95,642

001 本部

正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年同月	増減
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,801,844	1,897,486	△ 95,642
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産除却損	1	0	1
車両運搬具除却損	1	0	1
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	△ 1
当期一般正味財産増減額	1,801,843	1,897,486	△ 95,643
一般正味財産期首残高	11,816,429	9,918,943	1,897,486
一般正味財産期末残高	13,618,272	11,816,429	1,801,843
II 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	13,618,272	11,816,429	1,801,843

財産目録

令和 4年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等		金額
		使用目的等	使用事業	
(流動資産)				
現金	手元保管	運転資金	シルバー人材センター事業	446,153
預金	普通預金 佐原信用金庫笹川支店	運転資金	シルバー人材センター事業	10,627,592
	普通預金 佐原信用金庫笹川支店	運転資金	シルバー人材センター事業	500,085
郵便貯金	ゆうちょ銀行058支店	運転資金	シルバー人材センター事業	4,443,764
未収金	東庄町役場他32件	契約金額	シルバー人材センター事業	1,477,125
	(公社)千シ連	派遣事業協力費等	シルバー人材センター事業	484,206
前払金	全福サービス	役員賠償責任保険	法人管理	53,000
	全福サービス	情報漏えい保険	法人管理	28,500
流動資産合計				18,060,425
(固定資産)				
その他固定資産				
車輛運搬具	軽ワゴン (ダイハツ)	シルバー人材センター事業	シルバー人材センター事業	1,155,080
	軽トラック (ホンダ)	シルバー人材センター事業	シルバー人材センター事業	1
什器備品	草刈機 (共立)	シルバー人材センター事業	シルバー人材センター事業	110,470
	発電機 (新ダイワ)	シルバー人材センター事業	シルバー人材センター事業	111,167
預託金	リサイクル預託金	シルバー人材センター事業	シルバー人材センター事業	14,030
固定資産合計				1,390,748
資産合計				19,451,173
(流動負債)				
未払金	配分金50名	シルバー人材センター事業に供する 配分金未払い金	シルバー人材センター事業	1,544,893
	業者材料費等	シルバー人材センター事業に供する 材料費等未払い金	シルバー人材センター事業	17,490
	業務委託料等	シルバー人材センター事業に供する 委託料等未払い金	シルバー人材センター事業	849,623
	業務委託料等	法人管理に要する 委託料等未払い金	法人管理	55,850
	運営安定化基金積立金			3,000,000
前受金	受取会費	R4年度正会員会費	シルバー人材センター事業	234,000
預り金	職員法定福利費	職員からの法定福利費預り金	シルバー人材センター事業・法人管理	131,045
流動負債合計				5,832,901
負債合計				5,832,901
正味財産				13,618,272

監査報告書

令和 4年 5月20日

一般社団法人東庄町シルバー人材センター
会長 吉田武夫 殿

監事 渡辺正巳 

監事 永井勝美 

私たちは、一般社団法人東庄町シルバー人材センターの令和3年度における会計及び業務監査を行いました。その結果につき、次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、会計帳票並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて実施した。
- (2) 業務監査については、理事から実施事項の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて実施した。

2. 監査の結果

- (1) 令和3年度の決算書類は、公正妥当と認められる会計基準に準拠しており一般社団法人東庄町シルバー人材センターの収支状況、財政状態を正確に表示しているものと認めます。
- (2) 一般社団法人東庄町シルバー人材センターの令和3年度の事業報告の内容は真実であり、法令もしくは定款に違反する事実はないと認めます。

第 3 条 安全就業基準

- (1) 作業は、安全第一を心掛け、急いんだり慌てたりしないこと。
- (2) 器具類は、使用する前に必ず点検すること。
- (3) 服装・履物は、作業に合った動きやすいものにすること。
- (4) 作業前には、準備体操をして体をほぐすこと。
- (5) 加齢による諸機能の低下を十分に認識し、無理をしないこと。
- (6) 作業現場では、常に整理整頓を心掛けること。
- (7) 共同作業では、合図、連絡を正確に行うこと。
- (8) 帰宅するまでは仕事のうち、交通事故に気を付けること。
- (9) 健康には、常に注意し、健康な状態で就業すること。
- (10) 仕事の前日は、十分睡眠を取るよう心掛けること。

